

私たちが見過ごしがちなもの—神様の恵み  
メッセージノート 2023年3月26日

マタイ 20:1-16

- 20:1 天の御国は、自分のぶどう園で働く者を雇うために朝早く出かけた、家の主人のようなものです。
- 20:2 彼は労働者たちと一日一デナリの約束をすると、彼らをぶどう園に送った。
- 20:3 彼はまた、九時ごろ出て行き、別の人たちが市場で何もしないで立っているのを見た。
- 20:4 そこで、その人たちに言った。『あなたがたもぶどう園に行きなさい。相当の賃金を払うから。』
- 20:5 彼らは出かけて行った。主人はまた十二時ごろと三時ごろにも出て行って同じようにした。
- 20:6 また、五時ごろ出て行き、別の人たちが立っているのを見つけた。そこで、彼らに言った。『なぜ一日中何もしないでここに立っているのですか。』
- 20:7 彼らは言った。『だれも雇ってくれないからです。』主人は言った。『あなたがたもぶどう園に行きなさい。』
- 20:8 夕方になったので、ぶどう園の主人は監督に言った。『労働者たちを呼んで、最後に来た者たちから始めて、最初に来た者たちにまで賃金を払ってやりなさい。』
- 20:9 そこで、五時ごろに雇われた者たちが来て、それぞれ一デナリずつ受け取った。
- 20:10 最初の者たちが来て、もっと多くもらえるだろうと思ったが、彼らが受け取ったのも一デナリずつであった。
- 20:11 彼らはそれを受け取ると、主人に不満をもらした。
- 20:12 『最後に来たこの者たちが働いたのは、一時間だけです。それなのにあなたは、一日の労苦と焼けるような暑さを辛抱した私たちと、同じように扱いました。』
- 20:13 しかし、主人はその一人に答えた。『友よ、私はあなたに不当なことはしていません。あなたは私と、一デナリで同意したではありませんか。』
- 20:14 あなたの分を取って帰りなさい。私はこの最後の人にも、あなたと同じだけ与えたいのです。
- 20:15 自分のもので自分のしたいことをしてはいけませんか。それとも、私が気前がいいので、あなたはねたんでいるのですか。』
- 20:16 このように、後の者が先になり、先の者が後になります。』

(新改訳 2017)

## 1. 神様の恵みを見過ごしがち—他の人と比べているとき

- 朝早くから働いた者たちは、一デナリを感謝できなくなりました。他の者と比べたので。
  - 同じような話は放蕩息子と勤勉息子のたとえ話、またマルタとマリヤの姉妹の出来事でも。
- 比べる対象によって、私たちは朝早くの人になり、また夕方五時の人になるのでは？
- すべての人に共通の恵み—ぶどう園の主人が会いに来たこと。
  - 主人はそれぞれの時間に、それぞれに会いに来てくれました。
  - 朝早くから働いた者でも、夕方五時から働いた者でも、神様はそれぞれの働きを同じく価値あるものと見てくださいます。

## 2. 神様の恵みを見過ごしがち—自分がうまくできなかったとき

マタイ 10:32-33

- 10:32 ですから、だれでも人々の前でわたしを認めるなら、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。
- 10:33 しかし、人々の前でわたしを知らないと言う者は、わたしも、天におられるわたしの父の前で、その人を知らないと言います。

- イエス様は目指すべき理想をチャレンジしています。でもペテロは…

### マタイ26:73-75

26:73 しばらくすると、立っていた人たちがペテロに近寄って来て言った。「確かに、あなたもあの人たちの仲間だ。ことばのなまりで分かる。」

26:74 するとペテロは、嘘ならのろわれてもよいと誓い始め、「そんな人は知らない」と言った。すると、すぐに鶏が鳴いた。

26:75 ペテロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と言われたイエスのことばを思い出した。そして、外に出て行って激しく泣いた。

- イエス様は、自分のことを知らないと言うペテロを私も知らないとは言わず、彼のために祈り、励ましました。

### ルカ22:31-34

22:31 シモン、シモン。見なさい。サタンがあなたがたを妻のようにふるいにかけることを願って、聞き届けられました。

22:32 しかし、わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならないように祈りました。ですから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」

22:33 シモンはイエスに言った。「主よ。あなたとご一緒なら、牢であろうと、死であろうと、覚悟はできております。」

22:34 しかし、イエスは言われた。「ペテロ、あなたに言っておきます。今日、鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言います。」

### ヘブル4:15

4:15 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでした。が、すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。

- 神様の基準通りに生きられたのはイエス様ですが、そうはできない私たちに同情してくださる方です。

- パウロは自分の葛藤を認め、しかし、イエス様がとりなしてくださることを感謝しています。

### ローマ 7:15,19

7:15 私には、自分のしていることが分かりません。自分がしたいと願うことはせずに、むしろ自分が憎んでいることを行っているからです。

7:19 私は、したいと願う善を行わないで、したくない悪を行っています。

### ローマ 8:33,34

8:33 だれが、神に選ばれた者たちを訴えるのですか。神が義と認めてくださるのです。

8:34 だれが、私たちが罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていてくださるのです。

まとめ：

- 一日の中で神様に焦点を合わせる工夫が何かできるでしょうか。
- 自分の心の闇で落ち込んだとき、その時にはわからなかったが後ではイエス様がともにいて助けていてくださったと思えたことがあったでしょうか。
- 周りにとりなしの祈りを必要としている人がいるでしょうか。